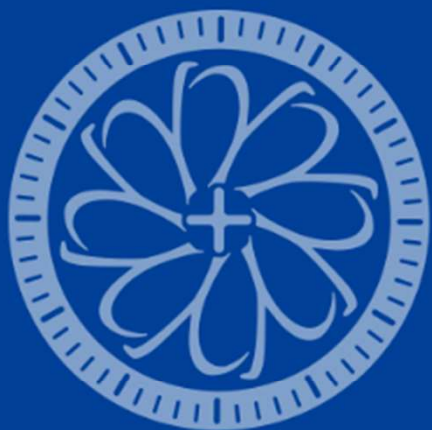




+8yr

Extension of Healthy Life Expectancy
EXTENSION OF HEALTHY LIFE EXPECTANCY



+8yr

2025年12月期 第2四半期決算説明資料

マース株式会社
(東証グロース市場：5619)



I. 事業概要

II. 決算ハイライト

III. Appendix

I. 事業概要

1. 健診・人間ドックのWEB予約 ➡ P7-11参照

- 健診・人間ドック全体（個人・法人・行政）の市場規模は約1兆円
- これまではWEBマーケティングを活用し、個人予約（約500億円市場）を中心に展開
- 今後は企業との提携を進め、法人予約（約6,000億円市場）へ拡大していく

2. WEB予約分野はブルーオーシャン ➡ P12参照

- 大手R社などは撤退し、MRSOが圧倒的なポジションを構築

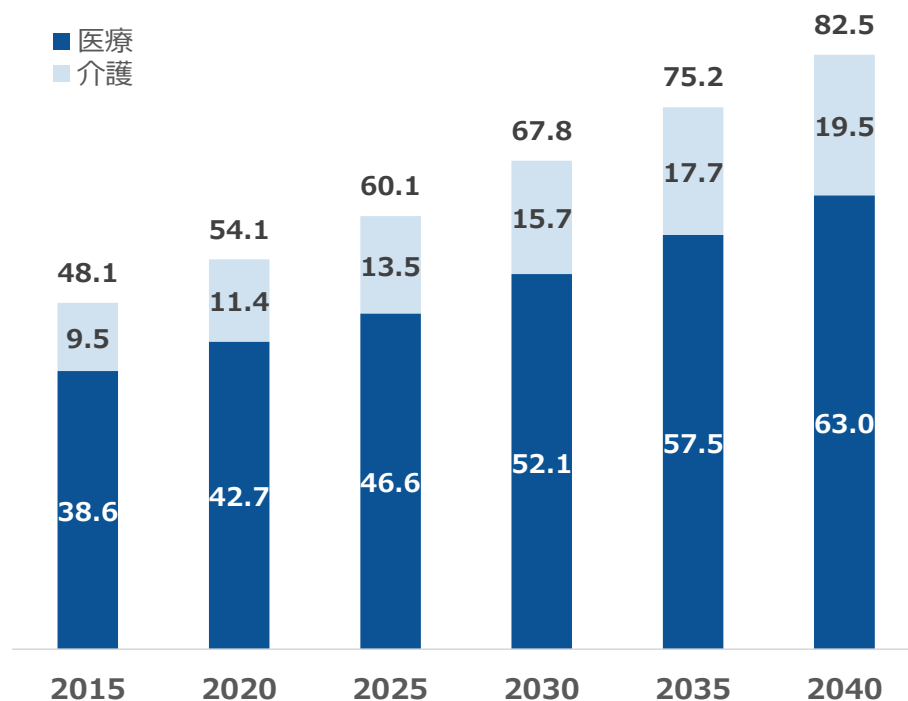
3. 健診データ等を集約するヘルスケアプラットフォームの構築 ➡ P13-14参照

- WEB予約と一体で医療施設へのDXツールを提供し、健診業界のDXを進める
- その中で健診データ等を集約するプラットフォームを構築し、パーソナル人間ドックの提案等に繋げていく

アナログ業務からデジタル業務へのDXにより、 個人・法人・行政・医療施設をつなぎ、予防医療をアップデートする



- 医療・介護費は**2040年に年間約80兆円超**となる見込み
- 予防は医療費1万円あたり平均3.27万円の削減効果が確認されており、**今後の取組は必須**

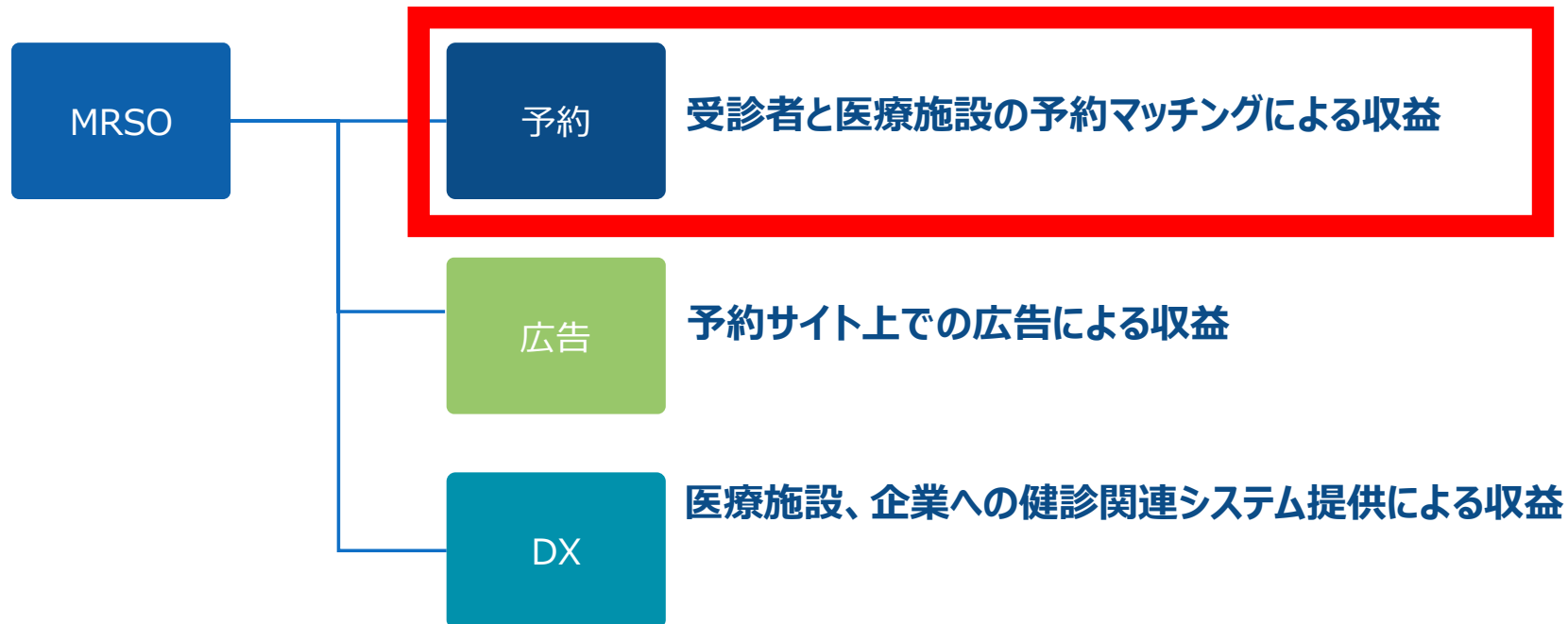


※1 <https://www.mri.co.jp/knowledge/insight/policy/20240614.html>

※2 Health Affairs誌 “Workplace wellness programs can generate savings” (Baickerら)

- MRSOの事業には以下の3つの分野が存在。その中でも、**現在の注力分野は予約**
- 予約分野とともに、**広告分野、DX分野も伸びていく**

現在の注力分野

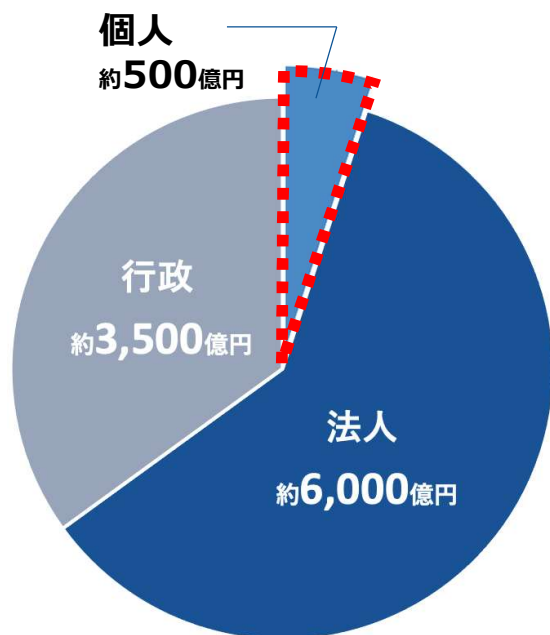


- 健診・人間ドックの市場は**全体約1兆円**で、下記の3つの分野に分類できる



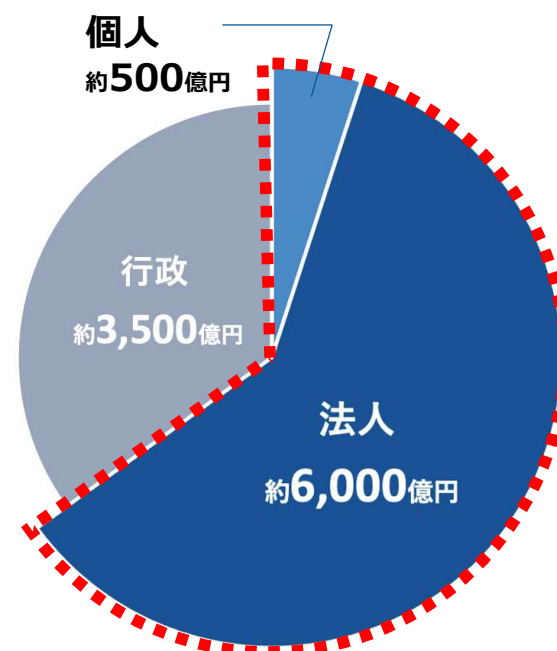
- 25年4月に開始した**法人予約の市場規模は約6,000億円と大きく、ここが今後の注力分野となる**

今までのターゲット



健診・人間ドック市場

これからのターゲット



健診・人間ドック市場

* 法人、個人、行政の市場規模は、株式会社矢野経済研究所「健診・人間ドック市場の実態と展望」及び株式会社矢野経済研究所公表の「健診・人間ドック市場規模推移・予測」に基づき算出

- MRSOの予約分野のビジネスモデルは、基本的には**ホテル予約サイトと類似したビジネスモデル**
- 受診者（需要側）と医療施設（供給側）の両サイドを抑えていくことが重要になる

MRSO予約分野ビジネスモデル



ホテル予約サイトビジネスモデル



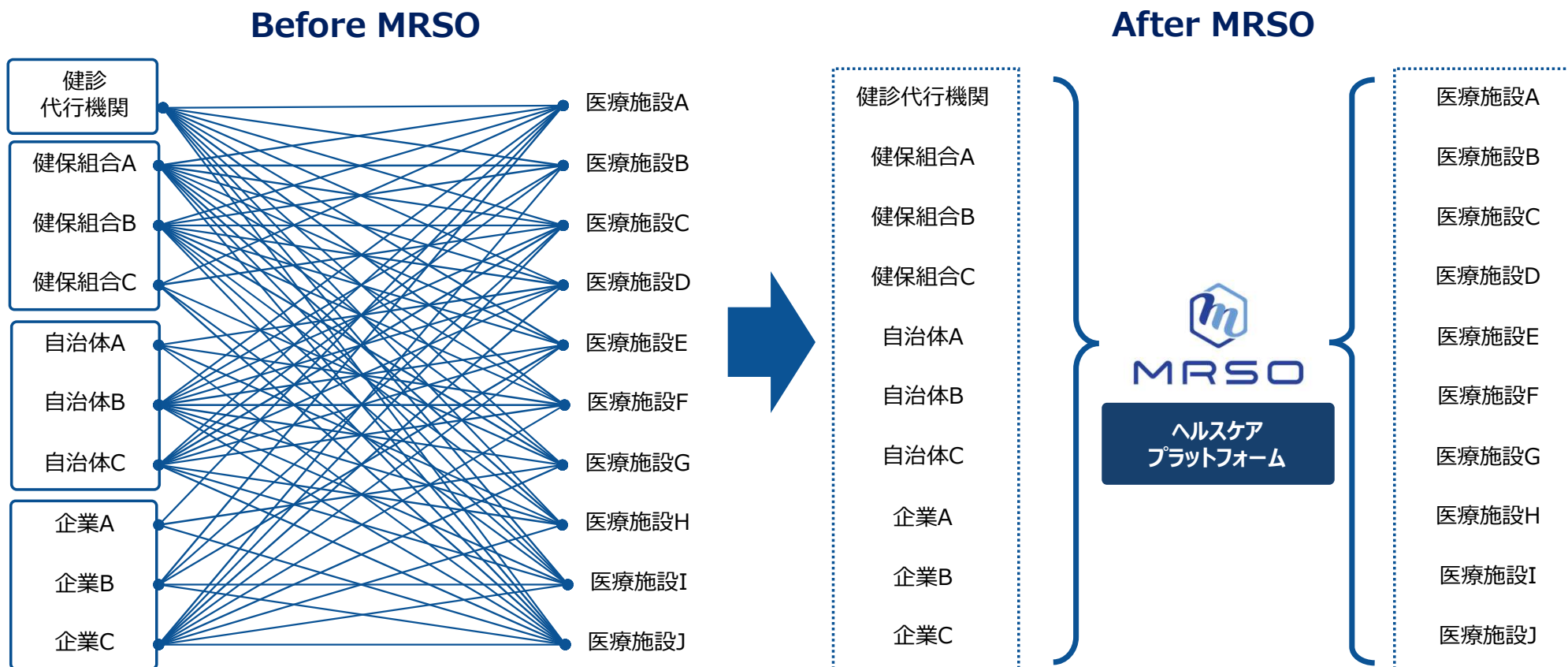
- MRSOは健診機関（掲載施設数）、受診者（会員数）の両サイドで**日本最大級**
- **ネットワーク効果により、今後更なる拡大の加速が見込まれる**



- 競合他社が撤退、横ばいのなかで、MRSOは掲載施設数を大幅に拡大
- この**圧倒的なポジションの更なる拡大、加速**を目指す

	掲載施設数
 MRSO	1,802
R社	撤退
E社	約1,000

- 現在は様々機関が健診データのやりとり等をバラバラかつアナログに行っている。MRSOは**WEB予約と一体でDXツール**を提供する
- このように健診業界のDXを進め、**健診データ等を集約するプラットフォーム**を構築する



- プラットフォームの拡大に伴い、健診データが蓄積され、**パーソナル人間ドックの提案などにも活用可能**
- 将来的には個別化予防医療など様々な形で展開が可能に



II. 決算ハイライト

1. 2025年通期予想に対する進捗率は39.5%とビハインド

-ワクチン除く売上全体（2Q累計）は前年同期比0.9%増加と微増も、2025年通期予想に対しての進捗率は39.5%と従来の2Q進捗よりも、ビハインド傾向

2. Google検索アルゴリズムのアップデートで予約売上が減少

-予約売上（2Q累計）はGoogle検索アルゴリズムの影響により、前年同期比5.1%減少

3. 掲載施設数及び会員数は順調に推移

-短期的な予約売上は前年同期比減少も、中長期的なプラットフォーム拡大の基礎となる掲載施設数（前年同期比+約23.2%）及び会員数（同+約22.4%）は順調に推移

- 売上はワクチン関連売上剥落により大幅減少も、それ以外の事業の売上は**前年同期比0.9%増加**
- 2025年通期予想に対しての**進捗率は39.5%**

(百万円)

	2024/2Q 累計 (実績)	2025/2Q 累計 (実績)	前年同期 増減比	2025通期 (予想)	進捗率
売上高 (ワクチン関連含む)	682	527	▲22.8%	1,333	39.5%
ワクチン	161	0	▲99.4%	0	100.0%
売上高 (ワクチン関連除く)	521	526	+0.9%	1,332	39.5%
予約	314	298	▲5.1%	815	36.6%
広告	132	149	+12.8%	306	48.9%
DX	74	77	+5.4%	210	37.0%
売上総利益	543	404	▲25.6%	-	-
販管費	446	446	+0.1%	-	-
営業利益	97	▲42	-	36	-
経常利益	97	▲41	-	-	-
純利益	67	▲29	-	25	-

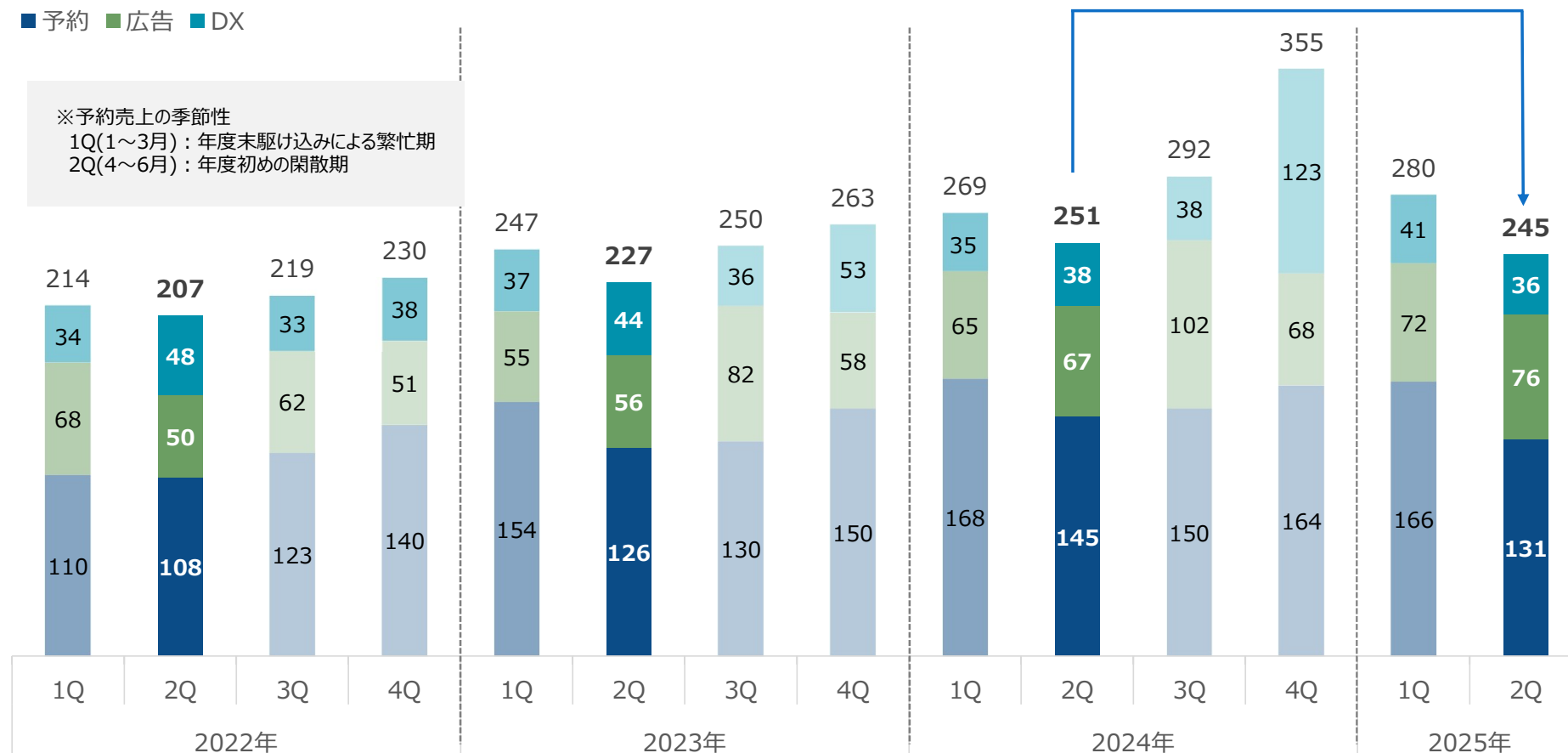
前年同期比売上（ワクチン関連除く）

- 予約売上がGoogle検索アルゴリズムのアップデート等の影響で予約売上が前年同期比9.3%減少
- 広告売上は同13.9%増加も、予約、DXの減少を補いきれずに、全体売上は同2.3%減少

前年同期比
▲2.3%

■ 予約 ■ 広告 ■ DX

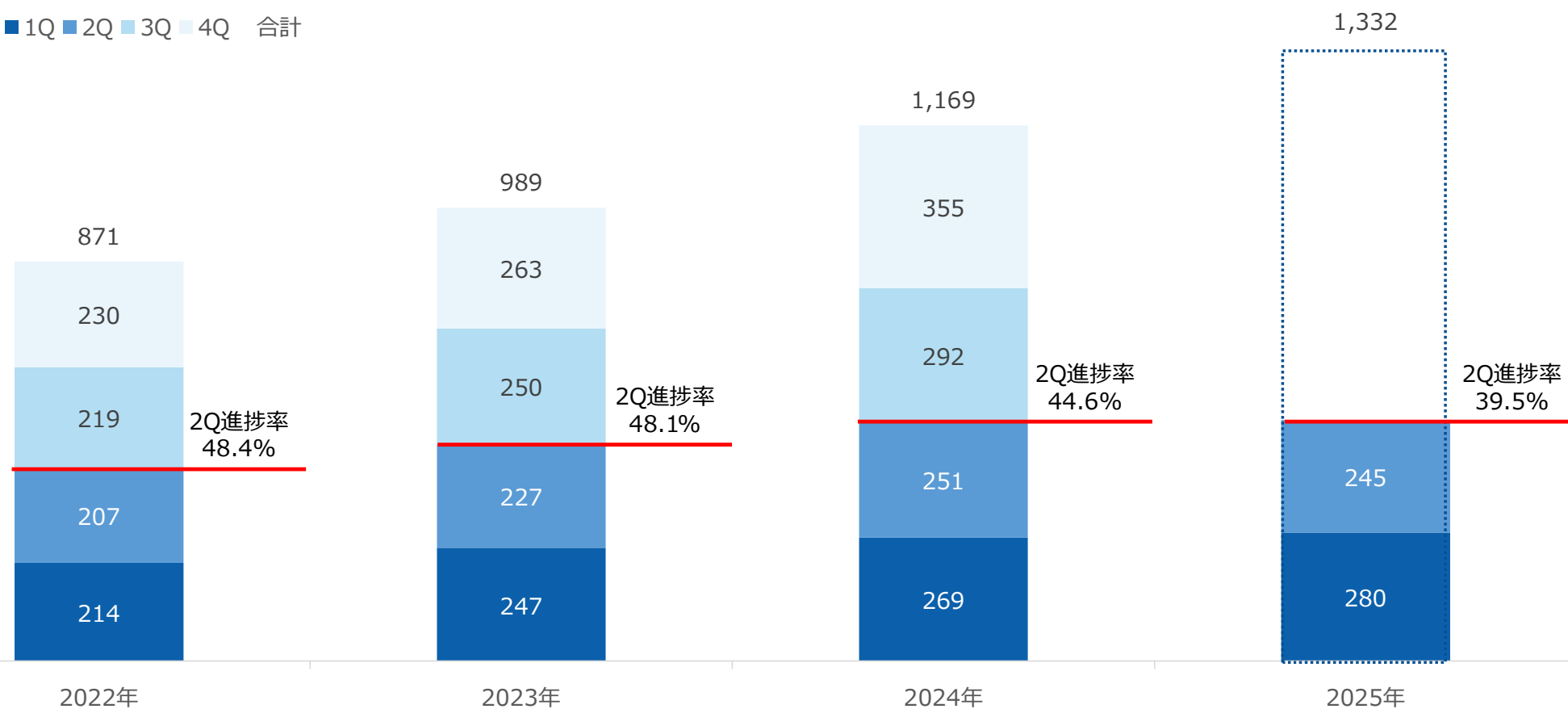
※予約売上の季節性
1Q(1～3月)：年度末駆け込みによる繁忙期
2Q(4～6月)：年度初めの閑散期



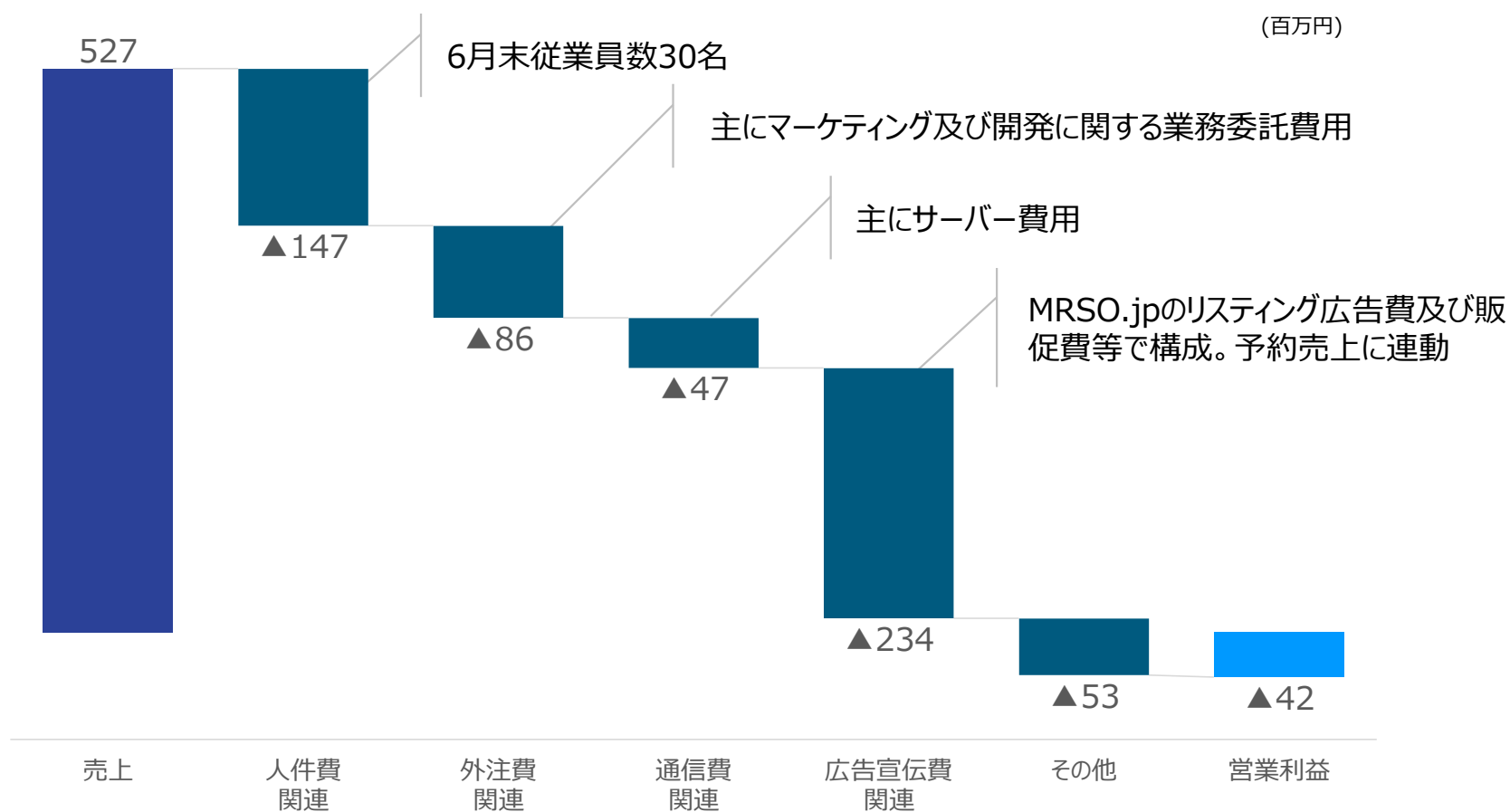
通期売上高予想に対する進捗状況（ワクチン関連除く）

- 2025年通期予想に対しての進捗率は39.5%と**従来の2Q進捗よりも、ビハインド傾向**

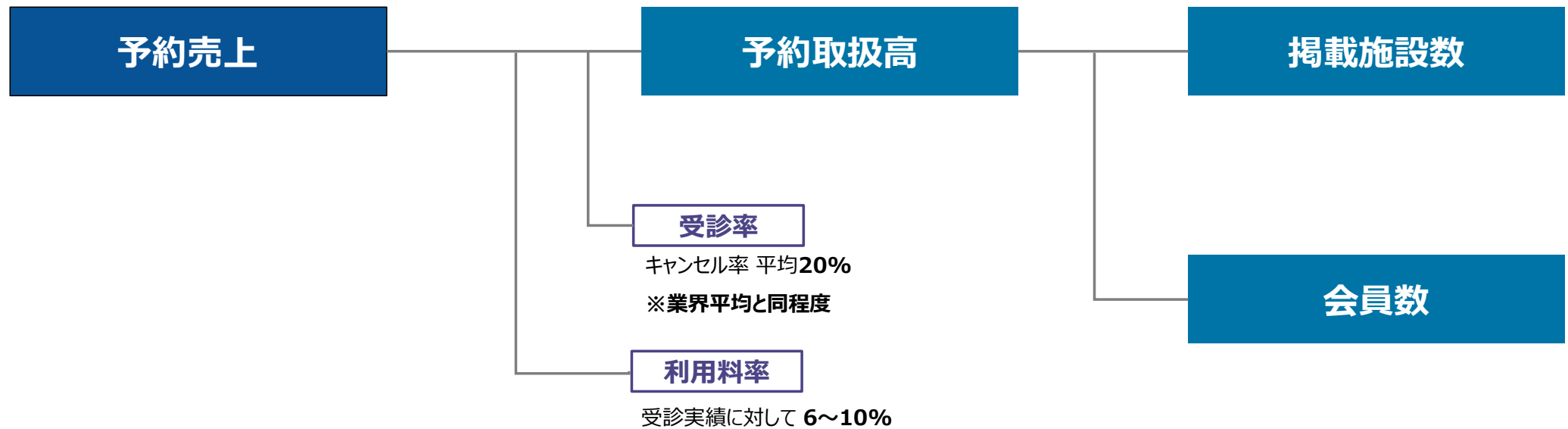
■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q 合計



- 2Qの営業利益は予約売上の減少が響き、▲42百万円と赤字

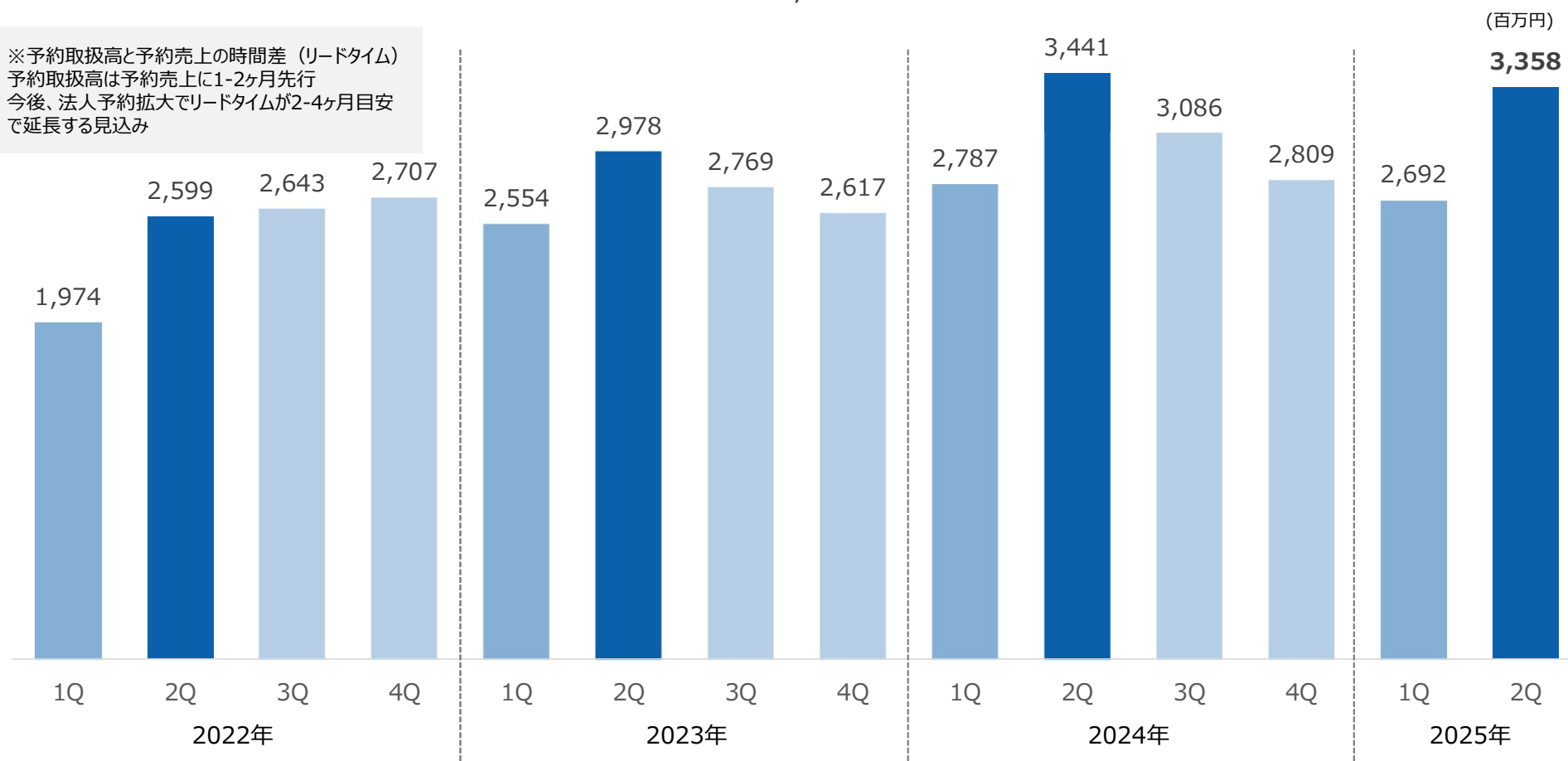


- 予約売上増加には人間ドックサービスの掲載施設数（供給側）及び会員数（需要側）の増加が必要
- 2025年4月の法人予約開始し、**法人健診の予約が多い掲載施設の拡大を優先的に進めている**



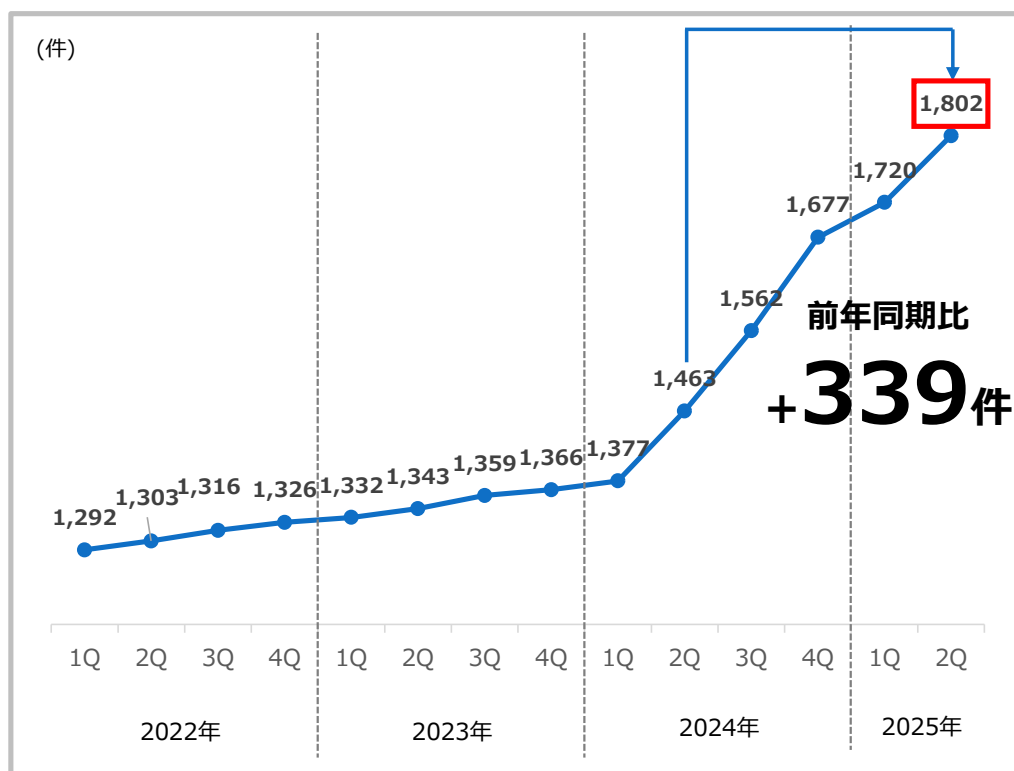
- Google検索アルゴリズムのアップデート等が影響
- その要因により、予約取扱高は前年同期比 2.4%の減少の3,358百万円

※予約取扱高と予約売上の時間差（リードタイム）
予約取扱高は予約売上に1-2ヶ月先行
今後、法人予約拡大でリードタイムが2-4ヶ月目安
で延長する見込み

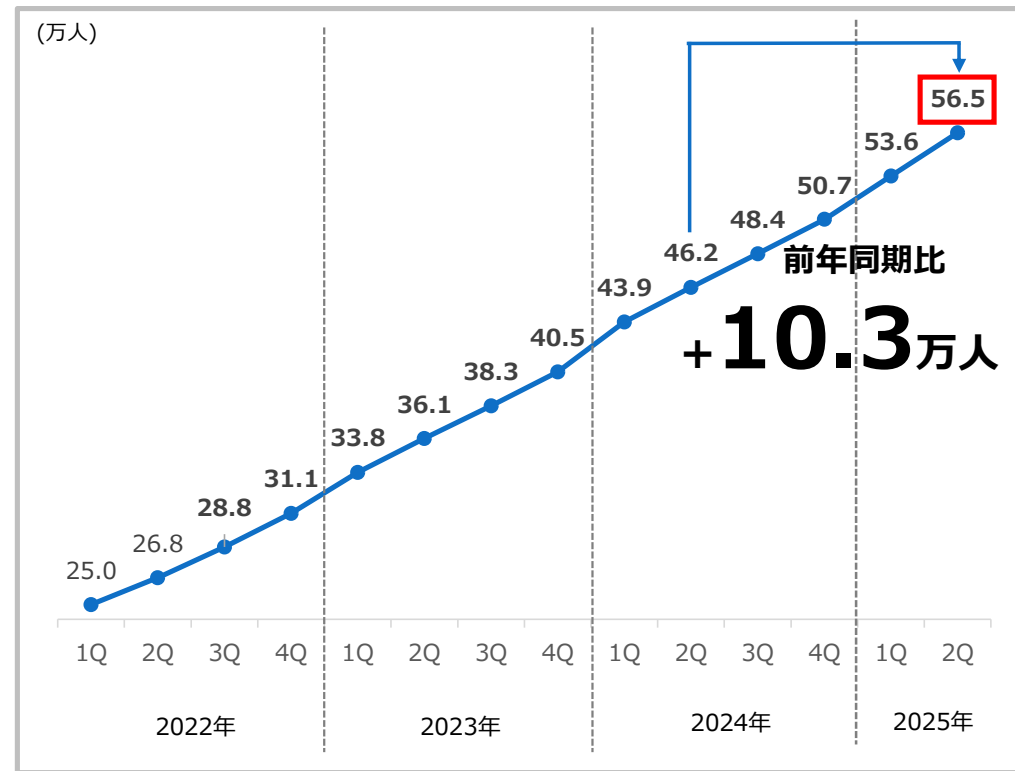


- 掲載施設数は法人予約開始で、**前年同期比+約23.2%（339件増）**と引き続き大幅な伸び
- 会員数も、**前年同期比+約22.4%（約10.3万人増）**と高い伸び率で順調に拡大を続ける

掲載施設数



会員数



- 医療AI/DX、再生医療、基礎研究分野への投資を行うBio Engineering Capital (BEC) へ出資
- 更なるスタートアップとの連携や先端医療技術の社会実装などを共同で進める

本提携 の目的

- (1) 先端医療技術の社会実装
- (2) スタートアップとの連携によるサービス共創
- (3) MRSO.jpを活用した先進医療の啓蒙

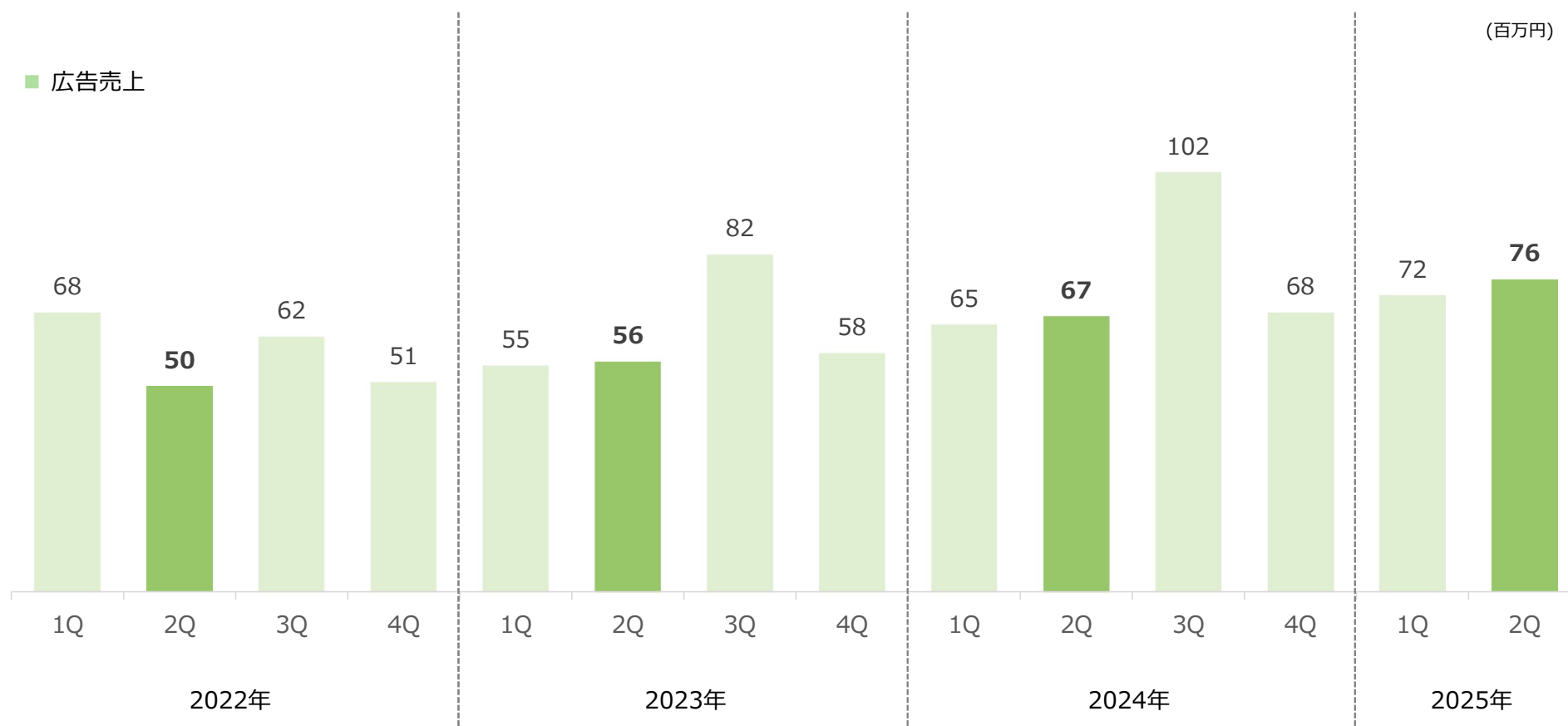


Bio Engineering Capital株式会社について

所在地	東京都中央区日本橋室町 3 丁目 2 – 1 日本橋室町三井タワー 7階 GLOBAL LIFESCIENCE HUB	Vision	Sailing with Bioengineers. 2030年までに、医療AI/DX、再生医療、基礎研究を通じて革新をもたらす“Bioengineers”を100団体援する
設立	2023年11月		
事業内容	医療AI／再生医療分野を中心としたスタートアップへの投資・支援、起業エコシステムの構築		

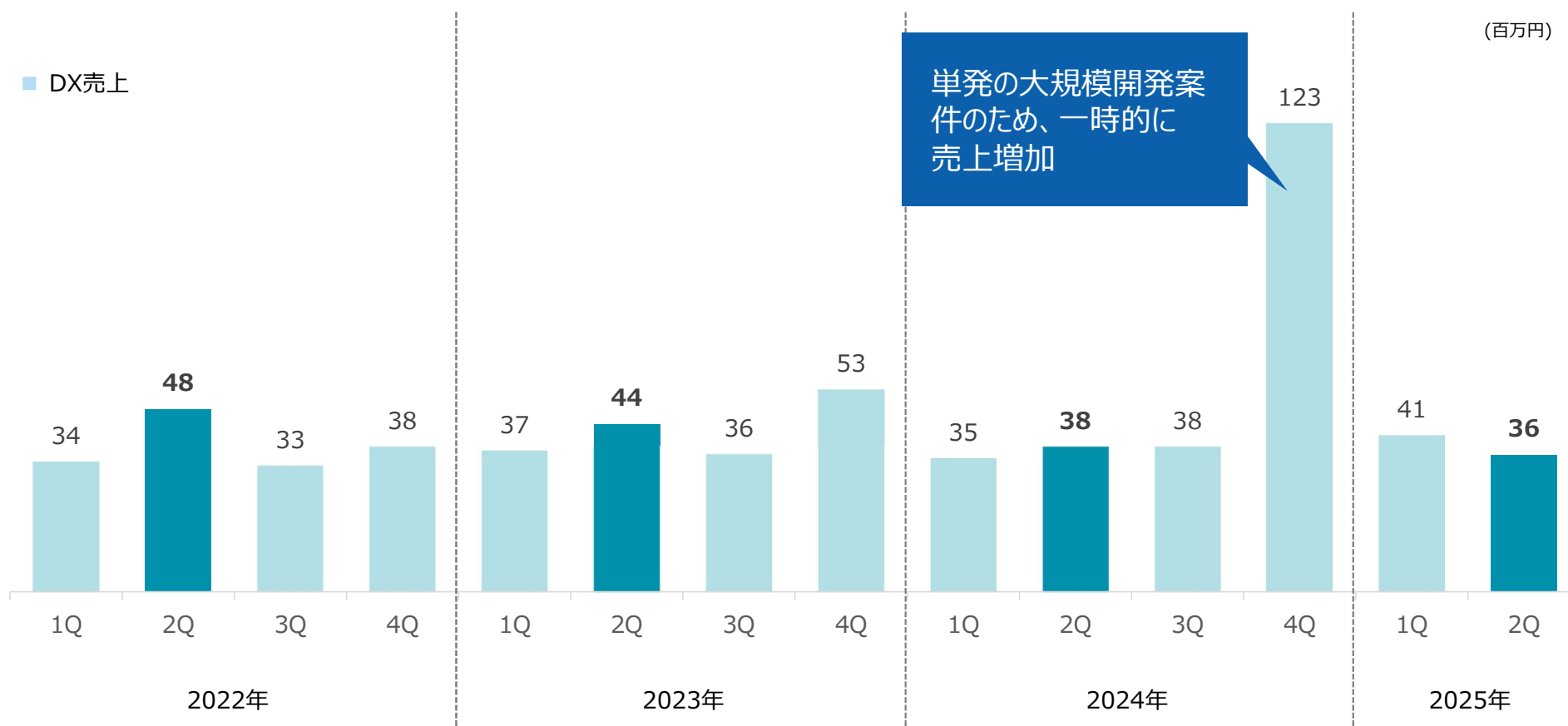
III. Appendix

- 広告事業においては安定的な医療施設向け広告に加えて、MRSOギフト券関連売上のようなスポットの売上で構成。
- 予約事業が伸びることで、広告価値が高まり、中長期的に売上も伸びていく見込み。

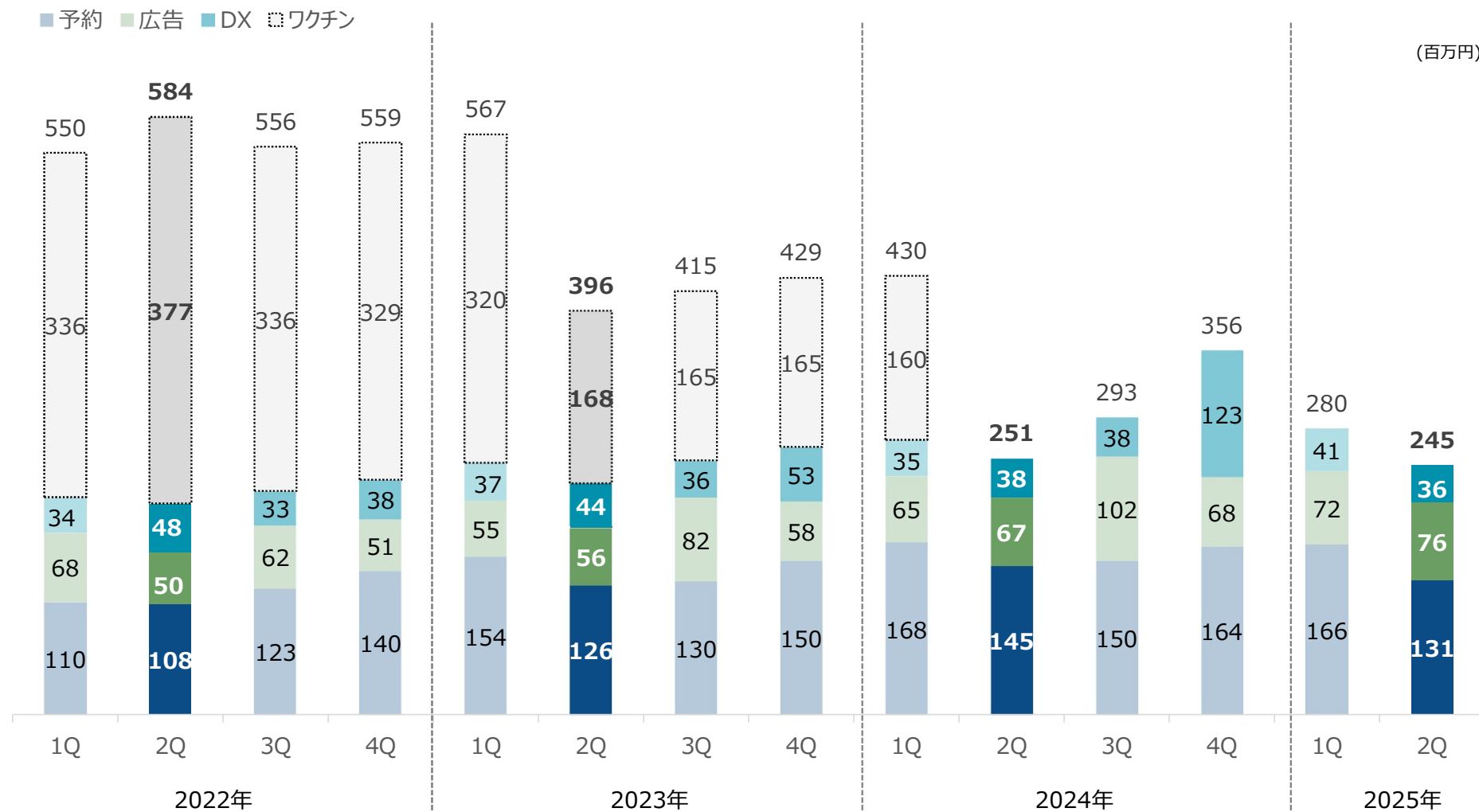


DX売上 四半期推移（ワクチン関連除く）

- DX売上は安定的なストック収入となる売上と、一時的な開発案件のようなスポット売上で構成。
- 法人予約とともに健診データ共有機能などの健診管理ツールも広がっていき、DX売上も伸びていく見込み



前年同期比売上（ワクチン関連含む）



貸借対照表

- 自己資本比率は約1.4pt上昇の91.0%
- 引き続き、投資余力は充実しており、機動的なM&A、投資などが可能な状況

(百万円)

	前期末 2024/4Q	2025/2Q	増減額
流動資産	2,106	1,971	-134
うち現金及び 預金	1,809	1,815	6
固定資産	150	211	60
資産合計	2,256	2,183	-73
流動負債	234	195	-38
固定負債	-	-	-
負債合計	234	195	-38
純資産	2,022	1,987	-34
自己資本比率	89.6%	91.0%	1.4pt

**キャッシュ・フロー
全体** : +6百万円

営業CF : +65百万円

- ・ 税金等調整前中間純損失 ▲41百万円
- ・ 売上債権の減少 +126百万円
- ・ 仕入債務の減少 ▲16百万円
- ・ 契約負債の増加 +15百万円

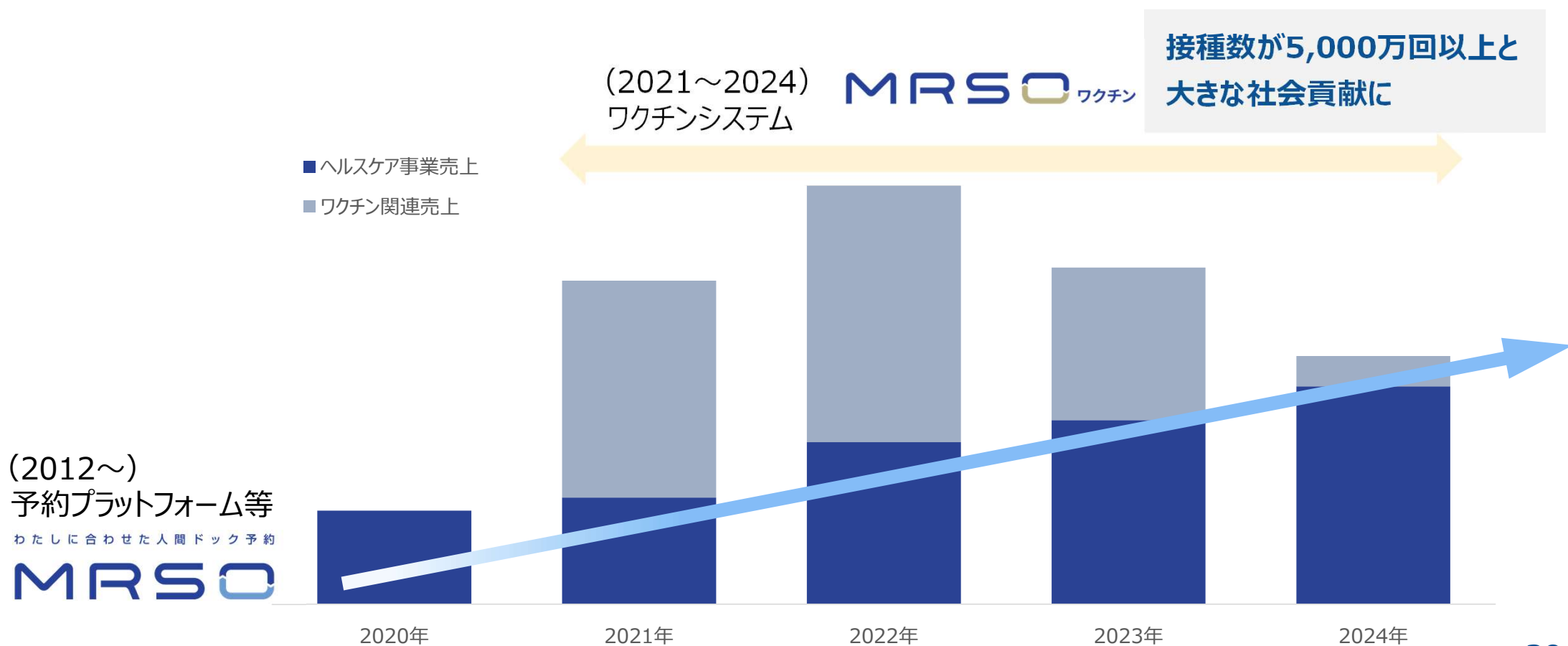
投資CF : ▲50百万円

- ・ 投資有価証券の取得 ▲49百万円

財務CF : ▲3百万円

- ・ 長期借入金の返済による支出 ▲3百万円

- 自治体からの要請もあり、コロナ禍という社会課題解決のために、ワクチンシステム事業に取り組み
- 足元、コロナ禍の収束で2年連続減収減益も、**ヘルスケアプラットフォーム等の主力事業は安定的に伸びる**



社名	マース株式会社 [英語名：MRSO Inc.]
代表者	代表取締役社長 西野 恒五郎
設立年月	2015年2月
本社所在地	東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー17階
資本金	122百万円
事業内容	人間ドック・健診の予約プラットフォーム「MRSO.jp」及び医療施設DX支援サービスの開発・運営等
従業員数	30名（アルバイト6名含む） ^{*1}

^{*1} 2025年6月末現在



Extension of Healthy Life Expectancy

日本は世界一の長寿国、しかし――

現在、日本人の平均寿命は約84歳と、世界で最も長い水準にあります。一方で、「健康寿命」は約74歳にとどまり、約10年間は“健康ではない状態”で生活しているのが現状です。

私たちの挑戦：健康寿命を8年延ばす（+8y）

MRSOは、健診予約ポータルリーディングカンパニーとして蓄積してきた健診データを活かし、予防医療への活用を進める「ヘルスケアプラットフォーム」へと進化します。目指すのは、「平均寿命」と「健康寿命」のギャップを埋めること。私たちは、「健康寿命を8年延伸する（+8y）」という社会的インパクトの創出に挑戦しています。

本資料に掲載されている事項は、資料作成時において入手した情報等に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。

本資料において将来の業績や予想に関する記述が含まれる場合でも、こうした記述は将来の業績予想を保証するものではなく、将来の業績は、経営環境の変化などにより、実際とは異なる可能性があることにご留意ください。

また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。